



2017年10月30日

各 位

会 社 名 株式会社トランスジェニック
代表者名 代表取締役社長 福永 健司
(コード番号 2342 東証マザーズ)
問合せ先 取 締 役 船 橋 泰
(電話番号 03-6551-2601)

当社グループ会社の(株)ジェネティックラボにおいて
「“ストップ！子宮頸がん”の会」市民フォーラム
「子宮頸がん撲滅のために」を開催いたしました

当社グループ会社の株式会社ジェネティックラボ(代表取締役社長:福永健司、北海道札幌市/以下、ジェネティックラボ)は、このたび“ストップ！子宮頸がん”の会(会長:こじまゆみ(札幌市議会議員))が主催する市民フォーラム「子宮頸がん撲滅のために～若年世代における子宮頸がん検診の重要性と最新の知見～」の事務局として運営参加し、盛会のうちに開催することができました。

当社グループ関連サービス:

- ・子宮頸がんにおける液状細胞診と HPV 核酸検出検査(簡易ジェノタイプ判定)
- ・自己採取 HPV 検査サービス

以上

各位

株式会社ジェネティックラボ

「“ストップ！子宮頸がん”の会」市民フォーラム 「子宮頸がん撲滅のために」を開催いたしました

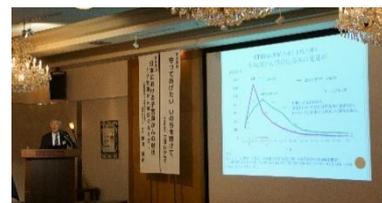
トランスジェニックグループの株式会社ジェネティックラボ（代表取締役社長：福永健司、北海道札幌市）は、このたび“ストップ！子宮頸がん”の会（会長：こじまゆみ（札幌市議会議員））が主催する市民フォーラム「子宮頸がん撲滅のために～若年世代における子宮頸がん検診の重要性と最新の知見～」の事務局として運営参加し、盛会のうちに開催することができました。

当社は、同会の事務局として2017年10月29日に市民フォーラムを開催いたしました。特別講演には、三原じゅん子参議院議員をお招きしてご講演いただきました。

ご自身も患い、その闘病のご経験から、子宮頸がんの撲滅に向けた大変力のこもった熱いメッセージをいただきました。



また、北海道対がん協会細胞診センター所長の藤田博正医師に、子宮頸がんに関する知識と実態および受診状況の現状と自己採取HPV検査の有用性に関してわかりやすくお伝えいただきました。



当日は、100名を超える市民のみなさまが熱心に聞き入り、活発な質疑応答も行われ、大変有意義なものとなりました。



当社は、引き続き自己採取HPV検査を推進するとともに、北海道から子宮頸がんをゼロにすることに一層貢献してまいりたいと考えております。

【“ストップ！子宮頸がん”の会について】

『全ての女性に対し、子宮頸がんに対する正しい知識を伝え、検診の重要性を啓発することで、北海道から子宮頸がん罹患者及び死亡者をゼロにします。』という理念のもと、市民や道民のみなさまに対し、子宮頸がんについてわかりやすく情報提供を行うこと、また、行政、大学、地域医療機関、健診センターと協力し、子宮頸がん検診の重要性を発信し、検診未受診者対策に貢献することを活動方針に掲げ発足いたしました。

【株式会社ジェネティックラボについて】

2000年、北海道大学発ベンチャー第一号として設立。常勤の病理医が在籍し、病理診断技術と分子生物学関連技術を駆使したサービスを展開。個別化医療の実現に向け、バイオマーカーの探索・評価技術の開発やコンパニオン診断薬等、医療に直結する製品・サービスの開発を支援します。

お問い合わせ先

株式会社ジェネティックラボ 病理部営業課

〒060-0009 北海道札幌市中央区北9条西15丁目28-196 札幌ITフロントビル3F

E-MAIL: sales@gene-lab.com <http://www.gene-lab.com/>